



「たゆまざる歩み」

校長 藤田 賢一郎

保護者、地域の皆様からご支援いただき、二学期も好スタートとなりました。ありがとうございます。学校生活に幅と厚み加わるこの時期、板中生たちには、得意とすることを深めたり、苦手意識のあったことにも果敢に挑戦したりしてほしいと願います。8月18日の始業式では、願いを込めて、生徒に次のように語りかけました。

二学期が始まりました。まずは、皆さん全員が命にかかわるような大きなけがや事故もなく二学期を迎えたことを喜びたいと思います。これは当たり前前のことのように、実はとても難しいことです。皆さん一人ひとりが、健康や安全に気を付けて夏休みを過ごそうとした、その命を守る努力の積み重ねでなし得た成果です。

さて、終戦記念日を迎える8月には、全国各地で平和を祈る催しが行われます。9日には、長崎市の平和公園で、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴える「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が行われました。皆さんは、式典会場に設置されている「平和記念像」を知っていますか。像の天を指した右手は「原爆の脅威」を、水平に伸ばした左手は「平和」を示しているそうです。

「平和記念像」の作者、北村西望(せいぼう)氏は、「たゆまざる歩み」を座右の銘とする、著名な彫刻家です。享年104歳で亡くなるまで、明治、大正、昭和の三つの時代を彫刻一筋に生き、晩年には文化勲章を受章します。しかし、作品が認められるまでの道のりは長く、苦しいものでした。芸術を志す者の登竜門といわれる文展(現在の日展)にライバルが次々と入選する中、北村氏は入選までに8年間もかかり、彫刻をやめようと思ったこともあるそうです。入選後、北村氏は、「私は天才ではありませんから、人より5倍も10倍も時間がかかるのです」と語っています。

「たゆまざる歩み」は、「平和祈念像」制作中の

ある出来事によって、北村氏の胸に刻まれます。像は10メートルもありますから、彫刻のために回りに足場がかけられます。ある日、彫刻を終えて足場を降りると、一匹のカタツムリが像に這い登ろうとしているのを見かけました。その時は何気なく見過ごしたのですが、翌日、足場を上ると、なんと銅像の上部に昨日のカタツムリがいます。カタツムリは一晩かけて銅像を登り詰めたのです。その時、北村氏は、はっとして、「そうだ。カタツムリのようにゆっくりでよいのだ。少しずつでもよいから歩み続けることが大事なのだ」と、改めて思ったのだそうです。そして、100歳の時にその気持ちを俳句に詠みます。「たゆまざる歩み恐ろしかたつむり」。「たゆまざる歩み」とは、すなわち「たゆまざる努力」、それは北村氏の生き方そのものです。

畏怖の念を感じ、その感動を「恐ろし」とまで表現した北村氏は、カタツムリのたゆまざる着実な歩みに習い、102歳でもう一つの「平和記念像」を完成させます。東京都板橋区の庁舎前に設置されたこの「平和記念像」が遺作となりましたが、今も北村氏の「たゆまざる歩み」と「平和への祈り」を伝えています。

私たちは、二学期を始めることができましたが、新型コロナウイルスの猛威は衰えることなく、未だに世界中で多くの人々を不安の渦に巻き込んでいます。医療の最前線をはじめ様々なところで、命を助けようと必死に頑張っている、正に「たゆまざる歩み」を進めている方々が大勢います。

私たちも北村氏のように、人生焦らず、くよくよせず、しかし、具体的な目標を明確にもち、たゆまぬ歩みを続ける人間でありたいものです。二学期も、たゆまぬ歩みを続ける板中生の姿を期待し、私たち職員も皆さんにたゆまぬ支援を続けます。

保護者、地域の皆様、今学期も温かなご支援を、どうぞよろしくお願ひいたします。

「3年間の汗と涙の輝き」

～部活動を締めくくり、後輩にタスキをつなぎました～

3年生は、これまでのおよそ2年半、授業が終わると部活動や一人一人が目標をもって打ちこみたい活動に取り組んできました。もうしばらく活動を継続する部活動やクラブもありますが、運動部を中心に多くの3年生の活動は締めくくりとなりました。3年生の活動が7月に完了となった5つの部活動の様子を、7月に行われた3年生締めくくり大会を中心に写真で紹介いたします。

これまでご支援ご声援くださいました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

◇陸上競技部（高田公園陸上競技場 7/26）



◇バレーボール部（柿崎ドーム 7/19）



◇卓球部
(はねうまアリーナ 7/23)



◇野球部 (くびき球場 7/23)



◇バドミントン部 (板倉中体育館 7/26)



創意と工夫で進める体育祭準備

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでとは異なる様々な対策・工夫が必要な体育祭となります。この困難に負けることなく、全校生徒、職員が力を合わせ、創意にあふれ思い出に残る体育祭づくりを目指して、準備を進めています。なお、今年度の体育祭は、会場での参観を、生徒のご家庭2名までとさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。



輝く栄光

- ◇中学生バドミントン 3年生締めくくり交流会 (7/25、県バドミントン協会主催・新潟市秋葉区総合体育館)
男子ダブルス 第2位 白砂 尚哉さん(3年)・上原 蓮音(3年)
- ◇県中学3年生陸上競技選手権大会 (7/26、新潟陸上競技協会主催：高田城址公園陸上競技場)
女子100mハードル 第4位 八重澤 百果さん(3年)
- ◇全国中学生陸上競技大会2020 新潟県予選会 (8/10、新潟陸上競技協会主催：デンビッグスタジアム)
女子100mハードル 第6位 八重澤 百果さん(3年)
女子800m 出場 関原 梨乃さん(2年)
男子4×100mリレー 第7位 男子チーム 古川丈留さん(3年)-福崎永聖さん(3年)
勝山景翔さん(3年)-三浦朋来さん(2年)
女子4×100mリレー 出場 女子チーム 福崎祈愛さん(1年)-相羽優月さん(3年)
中村望愛さん(3年)-八重澤百果さん(3年)

9月の予定

- | | |
|--|--|
| 4日(金) 体育祭予行・準備 | 11日(金) 上越合同新人陸上大会 |
| 5日(土) 体育祭 | 20日(日) 吹奏楽部ミニコンサート(体育館) |
| 7日(月) 体育祭代休 | ※部員の保護者のみ参観可能 |
| 10日(木) 壮行式(無観客)、PTA総務委員会
第2回学校運営協議会 | 23日(水) PTA生活活動委員会交通立哨(~25日)
24日(木) 上越合同駅伝大会 |

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、無観客(生徒、職員のみ)や保護者のみの参観で行う行事があります。行事の様子は、Webページや、頸城連山10月号等でお知らせします。ご理解とご協力をお願い申し上げます。